岡崎市ホテル等民間収益施設誘致事業の優先交渉権者の決定について(速報)

岡崎市ホテル等民間収益施設誘致事業の優先交渉権者を下記のとおり決定しましたので公表します。

なお、客観的評価の結果につきましては、岡崎市ホテル等民間収益施設誘致事業事業者選定審査委員会における審査講評を添えて、後日公表する予定です。

令和８年11月５日

岡崎市長　内田　康宏

記

１　優先交渉権者

⑴　グループ名

ルートイングループ

⑵　グループ構成・役割

	企業名	主な役割
代表企業	ルートインジャパン株式会社 （東京都品川区）	・施設に係る土地賃借 ・ホテル等施設所有
参加企業 （代表企業を除く）	ルートインジャパン株式会社 （長野県上田市）	・ホテル等運営、管理、企画等
	ルートイン開発株式会社 （長野県上田市）	・ホテル等建築、設備の設計施工監理等

２　応募事業者数

１グループ

３　提案事業の概要（提案書の内容により記載、今後は設計や協議により変更有）

⑴　ホテル施設

・地上14階建て　延べ床面積9,506.09㎡

・総部屋数330室（最大定員576人）

【内訳】

シングル	(15.68㎡～18.29㎡)	88室
セミダブル	(15.68㎡～18.29㎡)	140室
ツイン	(20.35㎡)	92室
ユニバーサルツイン	(20.35㎡)	４室
デラックスツイン	(36.03㎡～47.03㎡)	４室
スイート	(67.38㎡、72.05㎡)	２室

※岡崎市内で最大の72.05㎡を含む２部屋のスイートタイプを配置

・レストラン（153席）

・会議室

・人工温泉大浴場（サウナ・水風呂）
・コインランドリー

⑵　その他施設

ア　飲食施設

・和風ダイニング居酒屋（128席）
・平屋建て　406.33㎡
※ホテル施設とは別棟で整備

イ　駐車場

・平面駐車場（178台）

4　提案事業期間

50年（建設・解体等を含む）

5　開業予定時期

令和９年度中に着工、令和11年度末以降の開業予定（関係手続等で変更の可能性あり）

6　評価のポイント

提案名である「クロスポイント岡崎」は、「歴史」「自然」「未来」を結び、人とまちの流れを生み出す、岡崎の新たなランドマークとなる立体交流拠点を目指すものであり、岡崎の新たな回遊と賑わいの渦を生み出し、まちの未来を動かし続ける原動力となることを期待させる提案内容でした。

特に、「ビジネス＆リゾート」として、平日のビジネスや、休日の観光・レジャーの需要をターゲットとする多様な部屋タイプと西三河地方最大となる330室を備え、来訪者を丁寧に迎え入れるためのゆとりあるロビーや車寄せを備えた点は、期待する機能以上の提案でした。

また、岡崎城や八丁味噌蔵を想起させる和風モダンな意匠や、殿橋などのライトアップとの一体的なランドスケープ形成など、岡崎の街との調和を図った外観デザインは岡崎ならではのランドマークとも成り得ます。

さらには、この場所ならではの借景を活かした、岡崎城や乙川を一望できる「最上階展望テラス」の設置や、夕日が沈む情景や花火大会を楽しめる「西側角部屋」には、その借景を望める窓を設けています。加えて、宿泊客以外も気軽に立ち寄ることのできるホテル内レストランや別棟の和風ダイニング居酒屋の設置など、周辺との調和により出会いや発見などが楽しめる拠点づくりとしての提案がされたことも、高く評価されました。